

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第56期事業報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当期は前期に引き続き、収益性を重視した経営を進めてまいりました。燃油費の高騰が続いたものの順調な景気回復にも後押しされ、旅客需要・貨物需要はともに堅調に推移し、売上高は1兆3,687億円、営業利益は888億円といずれも過去最高となりました。しかしながら、企業体質を強化するためバランスシートの改善にも取り組んだこと等から、連結当期純利益は前期並みの267億円にとどまりました。

特集にもあります通り、本年6月2日、当社を含むスターアライアンス加盟10社が成田国際空港第1旅客ターミナルビル南ウイングに集結しました。当社では、競争力の増したアジアのハブ空港にふさわしい路線の再編にも取り組んでいく所存です。

燃油価格の高騰をはじめ外部環境は常に変化していますが、アジアNo.1エアラインに向けて、安全運航を堅持し、環境変化に強い企業体質を築いてまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2006年6月



代表取締役社長

山元 肇 生